

多賀町の川を調べよう

【多賀町の歴史に関する本から調べる】

○『多賀町史』上巻・下巻 (多賀町史編さん委員会編、1991年)、別巻(1995年)	多賀町史は、多賀町全体の歴史を調べたいときの基本史料です。上巻には犬上ダムの建設や水論(分水をめぐる村落間の争論)についてまとめられています。下巻は、石灰岩を採集して石灰を製造する石灰産業について記載されています。別巻には、中世の水利に使った合子について記載されています。
○『郷土沿革史』その1(多賀町史編さん委員会編、1968年)、その2(1970年)	多賀町のできごとと国・滋賀県のできごとが年表にまとめられています。〈その1〉は明治元(1868)年から明治45・大正元(1912)年まで、〈その2〉は、明治45・大正元(1912)年から昭和44(1969)年まで記載されています。 多賀町の水論や水害の歴史を調べるのに便利です。

【各字の歴史に関する本から調べる】

○『敏満寺史』(敏満寺公民館編、1976年)	犬上川の水論や水論や犬上ダムの建設について記載されています。水論について詳細に記載されています。
○『水沼村』(敏満寺史跡文化保存会編、2002年)	犬上川の水論や犬上ダムの建設について記載されています。
○『久徳史・久徳こぼればなし』(近藤徳三編、1982年)	芹川の水論や水論について記載されています。水論について詳細に記載されています。

【滋賀県や周辺地域の本から調べる】

○『滋賀県百科事典』(滋賀県百科事典刊行会編、1984年)	芹川、犬上川の概要が収載されています。
○『角川日本地名大辞典 25 滋賀県』(角川書店、1979年)	総説、地名編、地誌編、資料編で構成されています。地名編と地誌編に多賀町の川の概要が収載されています。地名編は五十音順に、地誌編は地域ごとに配列されています。
○『日本歴史地名大系 25 滋賀県』(平凡社、1991年)	総論、地域項目編、文献解題、行政区画変遷・石高一覧、索引で構成されています。犬上川の水論が記載されています。配列は地域ごとに行われています。
☆『滋賀県災害誌』(滋賀県・彦根地方気象台編、1966年)	古代から昭和40(1965)年までの災害の記録が記載されています。多賀町の過去の水害を知ることができる資料です。

○『近江の川』（地方出版、1993年）	滋賀県内の30河川の歴史についてまとめられています。多賀町に関するものでは、犬上川、芹川が収載されています。
○『甲良町史』（甲良町史編纂委員会、1984年）	多賀町に隣接する甲良町の通史です。多賀町に関するものでは、犬上川の井堰や犬上ダム建設などが収載されています。

☆館内閲覧のみ（貸出禁止資料）

※当館に所蔵している資料の中から紹介しています。ここに紹介した本以外にも関連する資料が他館に所蔵している場合もございますので、カウンターまでお気軽にお問い合わせください。